

授業科目名・形態	介護の基本 I	講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	工藤 久	開講期	1 年前期	単位数	2

【授業の主題】

「尊厳の保持」「自立支援」という新しい介護の考え方を理解するとともに、「介護を必要とする人」を、生活の観点から捉えるための学習。また、介護における安全やチームケア等について理解するための学習とする。少子高齢化、家族機能の変化など介護問題の背景を明らかにし、介護福祉士を取り巻く状況を把握する。また、介護の意義と役割及び専門性について介護の歴史や関連法規（社会福祉士及び介護福祉士法等）を通して考えていく。

【到達目標】

- 1) 介護の新たな考え方を理解すること。
- 2) 介護福祉士を取り巻く状況や背景を、わが国の歴史を通して理解する。
- 3) 現在の介護福祉士の担う社会的役割と機能を支える仕組みを理解すること。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護の歴史 1
- 第2回 介護の歴史 2
- 第3回 介護福祉士の定義
- 第4回 社会福祉士及び介護福祉士法
- 第5回 介護福祉士の義務
- 第6回 名称独占と業務独占
- 第7回 介護福祉士の養成制度、登録状況
- 第8回 介護問題の背景 1：少子高齢化
- 第9回 介護問題の背景 2：家族機能の変化
- 第10回 介護問題の背景 3：介護の社会化
- 第11回 介護問題の背景 4：高齢者虐待
- 第12回 介護問題の背景 5：介護ニーズの変化
- 第13回 専門職業団体としての役割、機能
- 第14回 介護福祉士の倫理
- 第15回 介護のはたらきと基本的視点

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

教科書を事前に確認し、わからない語句などは専門書や辞典などで調べておくこと。

【主な関連する科目】 社会福祉概論、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論、日常生活支援技術

【教科書等】

新・介護福祉士養成講座 介護の基本Ⅱ（第4版）・介護の基本Ⅰ（第3版）中央法規出版（株）

【参考文献】

・春日キスヨ，介護問題の社会学，岩波書店

【成績評価方法】

筆記試験 60%、小テスト 30%、平常点 10%により総合的に評価する。

【学生へのメッセージ】

「介護とは何か」を念頭において授業を受けてください。欠席をせず、予習や復習をして小テストで着実に点数を獲得してください。